

奥羽大学報



<夏の葉草園を臨む>



127

目次

オープンキャンパス/第42回全日本歯科学学生総合体育大会結団式/歯学部学生と慶熙大学生のスポーツ交流/アロマ講座開催	2
薬剤師体験講座/科学実験講座/「歯の健康フェア2010」支援/中学生の歯科衛生士職業体験	3
献体者合同慰霊式/薬物乱用防止「626ヤング街頭キャンペーン」に薬学部学生参加/病院・薬局実務実習の実施	4
歯学部父兄会「地域会」/薬学部FD研修会/歯学部CBT問題作成ワークショップ/奥羽大学歯学会/大学院特別セミナー	5
大学院研究経過発表会/自衛消防訓練の実施/第1回研修歯科医派遣式/平成22年度日本薬学図書館協議会研究集会/セクシュアル・ハラスメント防止委員会からのお知らせ	6
社会保険集団指導/自著紹介/同窓会	7
同窓生のひろば	8
国内学会発表報告/国際学会発表報告/平成22年度科学研究費補助金	9
学校法人晴川学舎 平成21年度決算報告	10
人事	12
奥羽祭のお知らせ/平成22年度公開講座	13
平成23年度入試日程	14

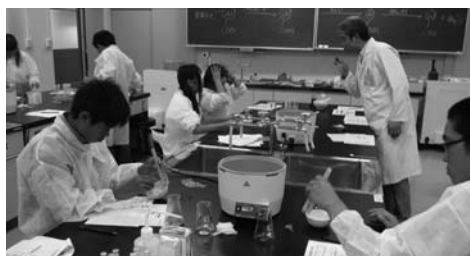
オープンキャンパス

平成22年度のオープンキャンパスを現在までに、6月5日(土)、7月24日(土)、8月21日(土)の3回開催した。

北は青森県から南は香川県まで広い地域から多数の参加があった。当日は各コースに分かれて実習体験、キャンパス見学を実施した。学部の特徴を生かした実習体験は特に参加者の関心が高く、短い時間ではあったが、内容が濃く充実していたと好評であった。



歯学部 歯科材料を使って粘土細工作製体験



薬学部 食品添加物の役割を探索

第42回全日本歯科学学生総合体育大会結団式

7月20日(火)本学第2講義棟にて、歯学体結団式が行われた。7月30日(金)～8月9日(月)までの期間に、本学では夏季部門12競技に約200名の学生が参加する。

式の中では天野学長、大野歯学部長による激励があり、学生代表として風間文貴学友会会長が、スポーツマンシップにのっとり正々堂々と戦い抜くことを宣誓した。



歯学部学生と慶熙大学生のスポーツ交流

8月2日(月)から5日(木)まで、李星馥教授、金奎兌講師以下、バレー部学生8名が奥羽―慶熙大学親善体育大会のために来学した。歓迎式では本学を代表して、天野義和学長、大野敬歯学部長の挨拶から始まり、教職員と歯学部学生の計22名が参加して歓迎の意を示した。今回のバレーボール大会では大学別試合とともに、日韓混合チームによる親善試合も行った。

また、友好をより深めるために病院及び大学見学、茶道体験を行い、今後の学術交流に先駆けて「奥

羽大学における全身麻酔下歯科治療の現状」の講義や3Dシミュレーション実習を行った。

今回の大きな目的である、来年度からの「望ましい学部交流」について両大学の教員が会議を行い、新たな交流についての大筋の合意を得た。李教授より有意義な交流であったとの所感があり無事終了した。



アロマ講座開催

7月21日(水)、薬学実習棟1階の実習室にて株式会社アインファーマシーズより3名の薬剤師の方を講師として迎え、アロマ講座が開催された。

講座内容は、補助的療法のひとつとされるアロマセラピーについて、さらに数十種類ある精油(アロマオイル)を用いながら、効能や特性についての講義



実習に近い講座は学生に大変好評を得た

小・中・高生のための実験・体験講座



お菓子を使って薬剤師を体験



解熱鎮痛薬の主成分を合成する

薬剤師体験講座

8月6日(金)に今年度はじめて「薬剤師体験講座」を開催した。対象は小学生と中学生とし、午前、午後に約40名の参加があった。模擬薬局で白衣を着た参加者たちは、粒状のチョコや、粉ジュースなどを「くすり」に見立て、分包機を使って1回分の量に分け、薬学部教員が演じる「模擬患者」に「くすり」の効用を説明した。また、同様にお菓子や飲料を使って、軟膏剤や水剤も作り、薬剤師の仕事を楽しみながら体験した。

科学実験講座

8月6日(金)に、中学生、高校生を対象として3年目となる「科学実験講座」を開催した。今年は、「製剤とは?—自分でくすりを作ってみよう—」、「くすりの主成分を合成してみよう」の2講座に約20名が参加した。

参加者たちは白衣を着て1日科学者となり、楽しみながら錠剤作りや解熱鎮痛薬の主成分の合成など、それぞれのコースで実験を行った。

を受けた後、香りを組み合わせてリップバームとアロマスプレーを作製した。

作業工程は授業で行なわれる実習に近く、またアロマは体や心に対する働きも薬の作用と似ている。参加した学生たちは、それぞれの求める香りや作用を考え、話し合って活き活きと作製していた。

一方、これとは逆に、臭気成分が多いとされた方には口臭の原因などを説明し口臭に対する理解を深めてもらった。来訪者の多くは口臭測定を通して、口腔の健康についての関心が高まったようであった。

「歯の健康フェア2010」支援

本学附属病院と口腔衛生学講座では、6月6日(日)に郡山歯科医師会が主催する「歯の健康フェア2010」を支援した。当日は、郡山駅前のビッグアイを会場として、口腔衛生学講座員2名で口臭測定を行った。測定は、口臭の臭気量を目で見ることでできる精密口臭測定器を用いて実施された。

来訪者の中には口臭を気にしているという方が多く見られたが、この精密測定で口臭の臭気成分量が少ないことを目の当たりにすると、ほとんどの方は安心した様子であった。



精密機器で口臭測定

中学生の歯科衛生士職業体験

現在県内の中学校ではキャリア教育の一環として、職業体験学習を盛んに行っている。附属病院では依頼を受け、7月1日(木)に郡山市立第二中学校、7月16日(金)に郡山ザベリオ学園中学校から体験学習の生徒を受け入れた。

訪れた中学生は院内を見学した後、希望する職種に分かれ職業体験を行った。歯科衛生士の仕事を希望した生徒は、スタッフが行う口腔清掃の手伝いをするなど、医療現場での仕事を興味深げに体験していた。今回の体験学習が中学生らの勤労観や職業観を育む一助になればと思われた。



献体者合同慰霊式

平成22年度の「奥羽大学献体者合同慰霊式」は、6月11日(金)午後1時より郡山市片平町の霊鷲山常居寺において厳粛にとり行われた。

好天にもめぐまれ、式にはご遺族、白菊会会員並びにご来賓の方々約100名のご臨席を賜った。本学からは天野義和学長をはじめ教職員、本年度系統解剖学受講の第2学年全員が参列し、これまでご献体賜った諸霊とご家族に感謝の意を捧げ、よりいっそう教育勉学に真摯に取り組む意を表明した。



ご献体賜った諸霊とご家族に感謝の意を捧げる天野学長

薬物乱用防止「626ヤング街頭キャンペーン」 に薬学部学生参加

6月26日(土)に郡山駅前広場にて、薬物乱用防止「626ヤング街頭キャンペーン」が開催された。国連決議による「6.26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図り、1人1人の薬物問題に対する意識を高めることが目的である。

本学からは、薬学部4年生(写真右から)小西利佳さん、郷右近愛美さん、齋藤可奈子さん、1年生の植村奈緒瑠さん、藤沢静香さん、高橋朝也香さんの6名がヤングボランティアとして参加した。

開会式では、小西利佳さんが内閣府特命担当大臣(薬物乱用対策推進会議議長)のメッセージ伝達を行った。



薬学部学生6名が薬物乱用防止を訴える

病院・薬局実務実習の実施

6年制薬学部の病院・薬局実務実習は5年次の学生に配当されている。本実習は1年を3期(2.5ヶ月/期)に分け、実習生は病院及び薬局にて各2.5ヶ月(合計5ヶ月)の実習を行う。今年5月

から全国6年制薬学部にとって初となる実習が開始された。本学の実習先は附属病院をはじめ、郡山やふるさとの東北各地の病院、薬局である。実習生は当初、初めての実務実習に大変不安そうであったが、実習に慣れるに従い、徐々に調子を上げたようだ。現場の薬剤師の先生からも「良く頑張っている」などのお褒めの言葉を頂いた。7月30日、実務実習I期(5/17-7/30)が、大きな混乱もなく無事終了することが出来た。現在、II期(9/6-11/19)の実習が始まり、学生達は新たな施設で奮闘中である。



奥羽大学歯学部附属病院にて



山形市立病院済生館にて

歯学部父兄会「地域会」

本年度の父兄会地域会は次の日程で開催された。

期 日	開催場所	参加者
平成22年6月19日(土)	東京 東京グリーンパレス	59名
平成22年7月 3日(土)	大阪 大阪ガーデンパレス	41名
平成22年6月26日(土)	福岡 福岡ガーデンパレス	38名

大学側から大野敬歯学部長、齋藤高弘学生部長、各学年主任が出席し、大学の現況報告として教育指導方針、カリキュラム、国家試験に向けての取り組み等について説明が行われた。質疑応答では、保護者から入学者志願者減少に対する質問があり、大学と父兄会との連携強化を図っていくことが必要だとの意見があった。

続いて各学年に分かれて個別懇談会の後、懇親会にて保護者同士あるいは大学教職員との交流を深めた。東京会場の懇親会では、首都圏内の大学で臨床研修歯科医として活躍している本学の卒業生が来場し、保護者の皆さんに奥羽大学で学んだ思い出や体験談を語る場面もあった。

地域会は父兄会の主催により例年上記3つの地区で開催されている。参加者からは年一回の大学関係者および同地域の保護者との情報交換を楽しみにしているとの声も多く聞かれた。次年度も多数の保護者に参加いただき、本学の教育・研究の理解と協力をお願いしたい。

薬学部FD研修会

8月2日(月)に、薬学部科目担当教員を対象に「FD研修会」を開催した。本研修会では、学生の学習環境をより良いものにするために、「どうすれば、学生が教員に相談しやすい状況になるのか」、「どうすれば、学生が理解できる授業になるのか」の2点について改善案を検討した。その結果、「アドバイザー制度の確立と有効活用」および「薬剤師業務と科目との繋がり」を説明するなどの改善策が提案された。

歯学部CBT問題作成ワークショップ

平成22年度歯学部CBT問題作成ワークショップの第1回と第2回が、5月28日(金)から29日(土)と7月23日(金)から24日(土)に、開催された。このワークショップは教員におけるCBT問題作成スキル

アップが目的であり、年間で計6回予定されており、第3回と第6回は共用試験実施評価機構から外部講師を招聘する予定である。

今回は基本となる問題作成が課題であり、2グループに分かれて実施された。今回の受講生は、本大学歯学部としては平成19、20年度の受講生に続き、第3期生となるため、既受講者からの指導が得られやすくなったためか、問題作成のスキルが向上しているように感じられた。

奥羽大学歯学会

6月19日(土)に標記の学会が附属病院棟5階の臨床講義室で開催され、11演題の発表があった。内容は基礎歯学に関する実験的研究から、症例報告を含む臨床研究まで広い分野をカバーするものであった。発表に対しては多くの質問もあり、活発な討論が展開された。

当日は学会の評議員会と総会も併せて開催され、平成22年度奥羽大学歯学会賞の表彰も行われた。受賞者は口腔病態解析制御学講座の玉井利代子助教で、歯周病原性細菌の混合感染における病原性発揮のメカニズムに関する基礎研究が評価の対象となった。



学会賞受賞 玉井利代子さん

大学院特別セミナー

7月2日(金)に標記のセミナーが、講義棟研修室Iで開催された。講師はイタリアのトリノ大学歯学部のAndrea Deregibus教授で、機能的顎矯正装置を使用した最新の矯正歯科治療に関するものであった。講演と質疑応答はすべて英語で行われ、大学院生も積極的に英語で質問をしていた。海外からの講師は米国が中心であったが、ヨーロッパの歯学部教員のセミナーを受講できたことは、大学院生・大学院教員にとって非常に新鮮で貴重な経験となった。



大学院研究経過発表会

8月19日(木)に標記の発表会が附属病院棟5階の臨床講義室で開催された。この会は学位論文のさらなる質的向上を目的として、各大学院生が多くの大学院教員から学位研究に関する助言を得るために行われている。当日は鈴木康生大学院研究科長の開会の挨拶で始まり、18演題の発表が行われた。発表後は多くの助言や質問があり、予定時間を超過する演題もしばしばあった。参加者は大学院生・大学院教員の他に、学部教員も加わって80名を超えていた。

いずれの助言や質問も学位研究がより優れたものになることを期待した貴重で示唆に富んだものであり、大学院生と指導教員にとって極めて有益な発表会であった。



自衛消防訓練の実施

附属病院の自衛消防訓練が6月1日(火)に実施された。各部署から、採用されて日が浅い方々を中心に40名の参加者があった。3階総合歯科診療室付近から出火したとの想定に基づき、119番通報、初期消火、避難誘導等の訓練が行われた。また5階から非常避難器具を使用しての脱出に加え、1階教職員出入口付近では消火栓からの放水を行い、非常時に必要な技術を確認していた。



職員による非常避難器具を使用しての脱出

第1回研修歯科医派遣式

7月2日(金)、前期派遣研修歯科医10名の研修施設派遣式が行われた。

10名は呼名起立後に、高橋和裕病院長より「技術的な面だけでなく、患者やスタッフとのコミュニケーションの大切さを学んで欲しい」との訓話を受けた。

その後派遣される研修歯科医は各々の決意表明を述べ、出席者全員の激励の拍手に見送られた。研修先施設は北海道、秋田県、山形県、宮城県、栃木県、東京都、鳥取県内に各1名、福島県内に3名が派遣され、その期間は10月23日(土)までの4ヶ月間である。



平成22年度日本薬学図書館協議会研究集会

日本薬学図書館協議会主催、日本医学図書館協会協賛による平成22年度の研究集会が9月2日(木)・3日(金)、本学第3講義棟と薬学部棟を会場として開催された。

全国の薬学部のある大学図書館職員や企業の関係者など47名が出席した。テーマは「魅力ある薬学図書館の創出をめざして～医療従事者の期待に応えるために」。電子資料の活用を図るリンクリゾルバの導入事例や、各図書館の問題点を探るグループ討議、本学薬学部の上野道明教授、倉本敬二准教授の講演などもあり、参加者相互の研鑽を深めた。

セクシュアル・ハラスメント防止委員会からのお知らせ

新任のセクシュアル・ハラスメント防止委員会委員を紹介する。薬学部の大島光宏教授、歯学部鈴木敏城講師が新たに選任され、薬学部の志村紀子講師が再任された。鈴木講師は臨床心理士としてカウンセリングを行い、これまでカウンセリングを行ってきた車田文雄准教授とともに、メンタルな面から学生のキャンパスライフをサポートしている。セク

シュアル・ハラスメントに関する相談については、この3人の委員のほかに、別表に示した11人の委員が相談に応じる。相談の秘密は厳守されるので、学生・教職員のみなさん、一人で悩まずに、セクシュアル・ハラスメント防止委員に気軽に相談していただきたい。

セクシュアル・ハラスメント防止委員名簿

氏 名	所 属	内線電話	所 在
久野 弘武	歯学部	2527	附 属 病 院 5 階
車田 文雄	歯学部	5348	薬学実習棟3階
遊佐 淳子	歯学部	3421	基 礎 棟 4 階
洪澤 洋子	歯学部	2564	附 属 病 院 5 階
阿部 匡聡	歯学部	3433	基 礎 棟 4 階
鈴木 敏城	歯学部	5349	薬学実習棟3階
大島 光宏	薬学部	7514	薬 学 部 棟 5 階
山本 正雅	薬学部	7511	薬 学 部 棟 5 階
志村 紀子	薬学部	7624	薬 学 部 棟 6 階
八巻 史子	薬学部	7420	薬 学 部 棟 4 階
渡辺 克己	学事部	8142	記 念 講 堂 1 階
黒田 よし子	図書館	5114	図 書 館
渡部 敏恵	看護部	2451	附 属 病 院 4 階
佐藤 安宏	総務部	8116	記 念 講 堂 1 階

【事務局】総務部 総務課

担当:佐藤安宏 (内線 8116)

FAX・TEL 024(991)7816

E-mail : sekuhara@jim.ohu-u.ac.jp

社会保険集団指導

本年度社会保険集団指導が、6月9日(水)の午後4時から臨床講義室において齋藤高弘診療録整備委員会委員長の司会で実施された。附属病院の医療従事者のほぼ全員が参加し、講師の東北厚生局福島事務所指導医療官の並木一郎先生と審査課長補佐の小口裕也氏より2時間の集団指導を受けた。

同窓会

歯学部

東北歯科大学同窓会秋田県支部は、昭和60年に発足した。昭和63年からは、総会、学術講演会の開催等の報告が会務報告書に明記され、事業及び活動記録が残っている。現在、会員数は50名(1期生～29期生)で構成され、主な活動としては、年1回の総会と学術講演会(主に県内講師)、忘年会を兼ねた学術講演会(県外講師)の開催、年2回の会報の発行が主なものである。

今回は、秋田県歯科医師会及び地区歯科医師会における、秋田県支部会員の関与および活動について、報告する。社団法人秋田県歯科医師会は、8月16日現在、455名の会員で構成されている。同窓会秋田県支部の会員は、1割程度を占めている状況である。しかし、その中において、この度の、参議院選挙をはじめ、県内の各議会議員と政治面で、秋田県歯科医師連盟副理事長(9期生)として重責を果たしている。また、県歯理事(3期生)、秋田県警察警察歯科医として、県内15所轄警察署の4地区警察署において4名が(1・5・7・9期生)委嘱されている。社会保険診療報酬審査委員として県内8名の中に2名(3・9期生)、歯科医師国民健康保険組合組合会議員として2名(9・11期)が就任している。

また、地区歯科医師会の会長(3期生)、専務理事(8期生)、理事(5・7・13期生)をはじめ、各会員が地域の歯科保健活動・歯科医療に貢献している。最新の話題としては、今年度の試みとして、奥羽大学口腔外科学講座、奥羽大学歯学部同窓会(オーウデント)のご協力のもと、8月1日(日)に「歯科医院・歯科スタッフ向け全身管理実習」を開催することができたことである。

自著紹介



「口腔微生物学 —感染と免疫—」 第3版

清浦 有祐 他
(歯学部教授)

2010年2月刊
学建書院

この本は、口腔内の感染症を起こす微生物とそれに対するヒトの防御メカニズムを歯学部の学生を対象に書き記したものである。口の中の微生物はう蝕や歯周病の原因となるだけでなく、現在では心臓病、動脈硬化症、糖尿病、肺炎や脳梗塞などさまざまな疾患の誘因の一つとなることが明らかにされている。本書でもそのような口腔微生物学の新たな研究対象に多くのページを割いて紹介した。そのため、学部生だけでなく、大学院生やすでに歯科医師として活躍している卒業生や父兄の方にも役立つものと考え。

参加した同窓会員のみならず、県内の歯科医師、歯科スタッフから良い評価と再受講の希望等をいただいております、11月に2回目が予定されている。また、可能であれば、次年度から継続した研修会として事業計画に取り入れることを考えたい。
(畠山桂郎)

同窓生のひろば



菊池 佳奈美
(歯学部7期生)

同窓会の皆様いかがお過ごしでしょうか。

ようやく今年の12月に待ちに待った新幹線がこの青森にやって来ます。大学時代には、とっくに開通するものと思いつつながら6時間以上電車に乗っていたり、そして北の終着駅として更に北海道の玄関口として連絡船に向かう友人を見送ったり懐かしく古き時代を思い出します。

私の住む青森市は、海と山に囲まれ、春は新緑・桜が綺麗で、夏は情熱的なネブタで賑わい、秋は紅葉が鮮やかで、冬は深々と降る雪と格闘の街です。食材は豊富で、海のものも、山のものも、季節で楽しめます。もちろん、酒好きにはたまらない美味しい酒もたくさんあります。特に、青森近海でとれる海の幸・七子八珍に地酒の田酒は最高です。

さて、私は現在、姉と一緒に週4日クリニックで診療し、後の2日は県の精神科専門病院に非常勤歯科医師として勤務しています。クリニックへの通勤路の青森港ベイブリッジは、北に陸奥湾・津軽半島・下北半島、南に八甲田山が見渡せ、日没後は青・緑・橙・白にライトアップし幻想的で、一日の疲れを癒してくれる私のお気に入りのスポットです。

また、もう一つの精神科専門病院は、スピリチュアル効果抜群の緑に覆われた小高い山の上にあり、かつこうや鶯・蟬などが鳴く閑静な所にあります。

青森支部の先生方は、皆仲良く団結力があつ、年に4～5回集まります。日々の診療などについて、色々話しますが、やはり同じ大学の卒業ということは、何にも代えがたい強いものを感じます。

私の学生時代の記憶では大学の先に人家がなく、木が鬱蒼と茂った緑の山でしたが、今は住宅やコンビニ・飲食店が立ち並ぶ拓けた街並みの変化

に驚きます。

二世が育つ時代になり、それぞれ良き父と母になっていることに時間の流れと照れ臭さを感じます。

人生はまだ5合目、やっと折り返し地点、第2・第3の青春はこれから成長あるのみ、日々努力これからも頑張らねばと思うこの頃です。

藤井 和子(旧姓 梅津) (文学部1期生)

早いもので、卒業してから17年が経ちました。たまたま先日、久しぶりに大学の近くを通りかかりました。文学部日文科の一期生として学んでいた当時を思い出しながら懐かしく校舎を眺めましたが、周辺の町並みの変化には驚かされました。大きな道路が通り、大型店ができ、家が多く建ち……。随分と月日が流れたのだなと実感いたしました。

今では、共に学び、同じ時間を過ごした友人達と中々会う機会がなくなってしまいました。年に数度の葉書の遣り取りだけになっておりますが、皆さんそれぞれの道で元気に活躍なさっているようです。

私はといえば、卒業後、中学校の国語科の講師として数年間勤め、結婚を機に家庭に入り、二人の子供にも恵まれました。

振り返れば、大学四年間、多くの先生方にご指導頂きました。中でも、荘司格一先生には卒論や進路のご指導を頂くなど、大変お世話になりました。卒業後も、仕事のことや人としての姿勢など多くのことをアドバイス頂きました。昨年、先生から頂いた葉書の中にこんな言葉がありました。『将来を担う子供たちをしっかりと育ててください』。自分の志した道は実現できませんでしたが、子育てが今、私のやるべき大切な仕事と、のんびり子供と向き合っています。

大学での師や友人たちとの出会いは、時が流れた今も変わらず、私を励ましてくれます。奥羽大学での四年間に感謝し、今をしっかりと頑張っていきたいと思います。

国内学会発表報告

歯学部

開催期日	発表演題	国内学会名	開催地	本学参加発表者
6/12	CAD/CAM用セラミックブロックの表面性状	日本歯科補綴学会第119回学術大会	東京	坂井祐真ほか
6/18	連結した顔面補綴用インプラントの生体力学的検討	第27回日本顎顔面補綴学会学術大会	岡山	渡邊浩秀ほか
6/25	高濃度の窒素含有ビスフォスフォネートによるヒト細胞の炎症性サイトカイン産生増強	日本老年歯科医学会第21回学術大会	新潟	玉井利代子ほか
7/23	奥羽大学歯学部の臨床実習の改善と評価	第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会	盛岡	清野晃孝ほか
7/24	臨床実習への障害者歯科治療介助実習の導入			中山奈美ほか
	口腔インプラント模型実習における改善点について			太田麻生ほか

国際学会発表報告

歯学部

開催期日	発表演題	国際学会名	開催地	本学参加発表者
6/27	歯科処置中の開口器による上気道狭窄	アジア歯科麻酔学会	韓国	山崎信也ほか
7/16	苦味物質に対する唾液中ヒスタチン5の機能	第88回国際歯科研究学会	スペイン	和田裕一ほか

薬学部

開催期日	発表演題	国際会議名	開催地	本学参加発表者
7/17	心不全患者における経口心不全治療薬デノブミンの体内動態および心血行動態に及ぼす効果について—PK/PDモデルを用いた研究	第16回国際薬理学会/臨床薬理学会	デンマーク・コペンハーゲン	小池勇一
7/23	Yubi-MRによる特殊電磁波の指への照射と帯電した水からの電子の作用による血中の酸化ストレスの減少効果			山本正雅
	侵害受容線末梢端に存在するグルタミン酸受容体の性状と疼痛との関わりについて			米原典史

平成22年度科学研究費補助金

(単位:円)

研究科目	研究代表代表者			交付額(直接経費)	交付額(間接経費)
	所 属	職 名	氏 名		
若手研究B	歯学部	助教	玉井 利代子	1,200,000	360,000
		助教	前 田 豊 信	1,000,000	300,000
		助教	宇佐美 晶信	500,000	150,000
	薬学部	助手	小 野 哲 也	900,000	270,000
基盤研究C	歯学部	教授	嶋 倉 道 郎	900,000	270,000
		教授	高 田 訓	200,000	60,000
		教授	加 藤 靖 正	1,000,000	300,000
		教授	深 井 直 実	1,100,000	330,000
		教授	高 橋 慶 壮	1,100,000	330,000
	薬学部	教授	柏 木 良 友	700,000	210,000
		教授	米 原 典 史 ※	500,000	150,000
		教授	大 島 光 宏 ※	700,000	210,000
挑戦的萌芽研究	薬学部	准教授	山 本 正 雅 ※	600,000	
合 計	13件			10,400,000	2,940,000
交付総額				13,340,000	

※は他大学に研究分担者がいる研究者です。

学校法人晴川学舎 平成21年度決算報告

決算の概要

①消費収支計算書

消費収支計算書は、その決算年度の消費収入と消費支出を示し、経営の状況を表しております。平成21年度の予算と決算を対比して、消費収入の部の寄付金、事業収入、雑収入の科目は、決算額が予算額を5千万円上回りました。

一方、入学生の定員割れが続いたことにより学生生徒等納付金、手数料の科目は、決算額が予算を8千1百万円下回った他、資産運用収入は2千万円、補助金も1億5千万円の減収となりました。

また、消費支出準備金特定資産の内、40億円を2号基本金に振り替え、80億円を翌年度繰越消費収入に加えました。

以上の結果、消費収入の部の合計(帰属収入合計)45億1百万円から基本金組入額38億9千3百万円を差し引いた消費収入の部合計は6億7百万円となりました。

消費支出の部は、人件費、教育研究経費、管理経費ともに経費の抑制がされて決算額が予算額より6億1千7百万円下回り44億3千2百万円となりました。

以上から、当年度は38億2千4百万円の支出超過となりました。

消 費 収 支 計 算 書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

消費収入の部

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,193,230	3,127,357	65,873
手数料	39,840	24,461	15,379
寄付金	3,720	11,296	△ 7,576
補助金	569,489	419,305	150,184
資産運用収入	223,106	202,856	20,250
事業収入	544,310	550,877	△ 6,567
雑収入	128,778	165,097	△ 36,319
帰属収入合計	4,702,473	4,501,249	201,224
基本金組入合計額	△ 226,912	△ 3,893,374	3,666,462
消費収入の部合計	4,475,561	607,875	3,867,686

消費支出の部

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,889,477	2,494,996	394,481
教育研究経費	1,620,332	1,499,240	121,092
管理経費	490,006	412,158	77,848
資産処分差額	24,450	24,449	1
徴収不能額	1,753	1,753	0
	(26,203)	—	—
予備費	23,797	—	23,797
消費支出の部合計	5,049,815	4,432,596	617,219
当年度消費支出超過額	△ 574,254	△ 3,824,721	—
前年度繰越消費収入超過額	1,670,236	431,183	—
平成21～26年度消費支出準備金取崩額	△ 1,700,000	△ 12,000,000	—
平成27年度消費支出準備金繰入額	1,700,000	0	—
翌年度繰越消費収入超過額	1,095,982	8,606,462	—

②資金収支計算書

資金収支計算書は、毎会計年度の諸活動に対応する収支(資金の動き)の内容を表したものです。消費収支計算書と重複するものについては説明を省きます。

収入の部の前受金収入と資金収支調整勘定は、新入生の授業料収入等で当該決算期でない年度分

の資金受け入れを調整する勘定で、その他の収入は引当資産へ繰り入れる資金等です。

支出の部で人件費と教育研究費及び管理経費が消費収支計算書と相違しているのは、退職給与引当金と減価償却額が資金収支計算書に含まれていないからです。

施設関係支出1億8千7百万円は、附属病院ボイラー取替工事や中央棟6階講義室改修工事等を施工したもので、設備関係支出は生物顕微鏡他教育研究用備品166点、高圧蒸気滅菌器他診療用機器備品32点および一般図書2,788冊を整備しました。

資産運用支出は、退職給与引当特定預金等の引当金に繰り入れたもので、その他の支出と資金支出調整勘定は、未払金や前払金等の前年度と今年度分の資金の動きを表したものです。以上の結果、次年度繰越支払資金は37億5千9百万円となりました。

資金収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,193,230	3,127,357	65,873
手数料収入	39,840	24,461	15,379
寄付金収入	2,000	2,550	△ 550
補助金収入	569,489	419,305	150,184
資産運用収入	223,106	202,856	20,250
事業収入	544,310	550,877	△ 6,567
雑収入	128,778	165,097	△ 36,319
前受金収入	1,000,750	461,900	538,850
その他の収入	2,231,187	12,248,687	△ 10,017,500
資金収入調整勘定	△ 1,291,545	△ 964,093	△ 327,452
前年度繰越支払資金	4,293,749	3,617,988	675,761
収入の部合計	10,934,894	19,856,985	△ 8,922,091

支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,958,250	2,520,631	437,619
教育研究経費支出	1,039,009	847,637	191,372
管理経費支出	397,097	328,581	68,516
施設関係支出	192,000	187,434	4,566
設備関係支出	223,852	171,420	52,432
資産運用支出	1,856,929	12,001,507	△ 10,144,578
その他の支出	223,431	242,806	△ 19,375
(0)			
予備費	300,000	—	300,000
資金支出調整勘定	△ 176,141	△ 202,188	26,047
次年度繰越支払資金	3,920,467	3,759,157	161,310
支出の部合計	10,934,894	19,856,985	△ 8,922,091

③貸借対照表

貸借対照表は、消費収支計算書と一体として作成するもので資産及び負債並びに正味財産の状態など、財政状態を表したものです。

土地等の固定資産については資金収支計算書で説明しましたので省きます。

その他の固定資産は、有価証券と退職給与引当特定預金や減価償却引当特定資産等の引当資産で21,127百万円を充当し備えています。

流動資産は、現金預金等の資金3,971百万円を保有して、学納金等の前受金を含む流動負債677百万円の約5.8倍が確保されております。

固定負債の退職給与引当金は、退職金の期末要支給額の100%を基に算出した額となっております。

基本金は、第2号基本金として、平成21年度の帰属収入の範囲内で40億円を組入れたため、282億9千5百万円となっております。

また、借入金はなく財政は安定しております。

貸 借 対 照 表

平成22年3月31日現在

(単位:百万円)

資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
有形固定資産	(13,720)	(14,112)	△ (392)
土地	1,614	1,614	0
建物	7,595	7,787	△ 192
教育研究用機器備品	1,936	2,153	△ 217
図書	2,093	2,038	55
その他	482	520	△ 38
その他の固定資産	(21,127)	(21,178)	△ (51)
有価証券	8,000	0	8,000
退職給与引当特定預金	1,219	1,272	△ 53
減価償却引当特定資産	7,300	7,300	0
消費支出準備金特定資産	0	12,000	△ 12,000
施設設備引当特定資産	4,000	0	4,000
第3号基本金引当資産	500	500	0
その他の固定資産	108	106	2
流動資産	(3,971)	(3,866)	(105)
現金預金	3,759	3,617	142
未収入金	137	131	6
前払金	59	101	△ 42
その他	16	17	△ 1
資産の部合計	38,818	39,156	△ 338

負債の部

科 目	予 算	決 算	差 異
固定負債	(1,240)	(1,266)	△ (26)
退職給与引当金	1,240	1,266	△ 26
流動負債	(677)	(1,058)	△ (381)
未払金	153	151	2
前受金	462	827	△ 365
預り金	62	80	△ 18
負債の部合計	1,917	2,324	△ 407
基本金の部合計	28,295	24,401	3,894
消費収支差額の部合計	8,606	12,431	△ 3,825
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	38,818	39,156	△ 338

人 事

〈定 年〉

中葉 利男 病院事務部・病院事務長 7月22日付
堀内 登 口腔機能分子生物学・教授 8月10日付
遠藤 進 病院事務部・庶務係長 8月22日付

〈任 用〉

菅又 美穂 歯学部・教育職員(助教) 6月 1日付

〈退 職〉

木村 優子 看護部・医療職員 8月31日付

〈採 用〉

石井 亜紀 看護部・医療職員 7月 1日付
北條 香織 看護部・医療職員 7月 1日付
鈴木 彩 看護部・医療職員 7月 1日付
小泉 香澄 病院事務部・医療職員 7月 1日付
中葉 利男 病院事務部・病院事務長 7月23日付
菅野るみ子 看護部・医療職員 8月 1日付
遠藤 進 病院事務部・参事(事務職員) 9月 1日付

第18回 奥羽祭のお知らせ

テーマ:Page One!

大学生活の思い出の1ページを皆様方と一緒に作りあげ、奥羽祭を成功させたいと願っております。学生、教職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。お誘い合わせの上、是非ご来学ください。

【10月9日(土)】

- 10:00～16:30 模擬店・室内展示
ロック研究会ライブ
- 11:00～13:00 うまい店コンテスト
- 13:00～14:00 ○×クイズ
お笑いライブ
- 14:30～15:30 Let's チャレンジ
- 奥羽大学公開講座(開場 9:00)
- 9:30～10:30 「りんごをかじらなくても歯ぐきから出血していませんか?」
- 10:45～11:45 「歯から健康、だから禁煙」
- 10:00～11:00 ヨガ教室(受付 9:30～) 要予約
定員100名、参加無料、ヨガマット持参
- 13:00～14:00 大学探検ツアー(第一次)
- 14:30～15:30 大学探検ツアー(第二次)

【10月10日(日)】

- 10:00～16:30 模擬店・室内展示
ロック研究会ライブ
東北歯科専門学校競作展
- 10:00～11:30 アロマ教室(受付 9:00～) 要予約
定員50名、参加無料
- 11:00～12:00 絵心コンテスト
- 12:00～13:00 目指せ!/?アンケート
- 14:00～15:30 アーティストライブ(有料)
- 15:30～16:30 ビンゴ大会
- オープンキャンパス
- 12:30～14:30 実習体験・キャンパス見学
・個別進学相談など
- 図書館開放(10:00～16:00)
絵本読みきかせ ①11:30～12:30 ②14:00～15:00

平成22年度公開講座

第19回 奥羽大学公開講座—心と身体の健康を考える—
平成22年9月18日から10月9日までの毎週土曜日開催。

日常生活に役立つ知識が満載の公開講座です。

一緒に学んで、健やかに暮らしてゆくためのヒントを探ってみませんか。

■会場/奥羽大学第3講義棟 ■受講料無料 ■駐車場完備 ■事前お申込み不要 ■お問合せ先:学事部

	1時間目(9:30～10:30)	2時間目(10:45～11:45)
9月18日 (土)	「痛みとは何だろう」 —生体の不思議なカラクリ— 薬学部教授 米原 典史	「ふしぎな光」 —レーザー光線が歯をなおす— 歯学部教授 横瀬 敏志
9月25日 (土)	「薬物乱用の怖さと麻薬の有用性」 薬学部教授 早坂 正孝	「口の健康と生活習慣病」 歯学部教授 廣瀬 公治
10月2日 (土)	「薬と身体」 —スポーツとドーピング(薬物乱用防止に向けて)— 薬学部准教授 宇佐見 則行	「うつ病」 —悩まない生き方を考える— 歯学部講師 鈴木 敏城
10月9日 (土)	「りんごをかじらなくても 歯ぐきから出血していませんか?」 薬学部教授 大島 光宏	「歯から健康、だから禁煙」 歯学部准教授 瀬川 洋

平成23年度入試日程

大学院歯学研究科

区 分	試験科目	募集人員	出願期間	試験日	合格発表
一 期	・英 語 ・面 接	18名	H22. 7 .12(月)～H22. 8 .19(木)	H22. 8 .21(土)	H22. 8 .25(水)
二 期			H22.11. 1 (月)～H22.12. 9 (木)	H22.12.11(土)	H22.12.15(水)
三 期			H23. 1 .11(火)～H23. 2 .17(木)	H23. 2 .19(土)	H23. 2 .23(水)

歯学部・薬学部

区 分	試験科目	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	試験会場
歯 学 部	推 薦 A日程	45名	H22.11. 1 (月)～H22.11. 8 (月)	H22.11.10(水)	H22.11.11(木)	本 学
	B日程		H22.11.15(月)～H22.11.29(月)	H22.12. 1 (水)	H22.12. 2 (木)	
	一 期	36名	H23. 1 . 7 (金)～H23. 1 .25(火)	H23. 1 .27(木)	H23. 1 .28(金)	
	二 期	5名	H23. 2 . 7 (月)～H23. 2 .17(木)	H23. 2 .19(土)	H23. 2 .20(日)	
	三 期	5名	H23. 2 .21(月)～H23. 3 . 1 (火)	H23. 3 . 3 (木)	H23. 3 . 4 (金)	
	四 期	5名	H23. 3 .14(月)～H23. 3 .24(木)	H23. 3 .26(土)	H23. 3 .27(日)	
	編入学	若干名	H22.10. 1 (金)～H23. 3 .24(木)	随 時	試験日から3日以内	
薬 学 部	推 薦 A日程	50名	H22.11. 1 (月)～H22.11.11(木)	H22.11.13(土)	H22.11.14(日)	本 学
	B日程		H22.11.22(月)～H22.12.11(土)	H22.12.12(日)	H22.12.13(月)	
	一 期	60名	H23. 1 . 7 (金)～H23. 1 .28(金)	H23. 1 .31(月)	H23. 2 . 2 (水)	本 学 仙台・大宮
	二 期	10名	H23. 1 .17(月)～H23. 2 . 4 (金)	H23. 2 . 7 (月)	H23. 2 . 9 (水)	本 学 仙 台
	三 期	10名	H23. 2 . 7 (月)～H23. 2 .18(金)	H23. 2 .21(月)	H23. 2 .23(水)	本 学
	四 期	10名	H23. 2 .28(月)～H23. 3 .15(火)	H23. 3 .17(木)	H23. 3 .18(金)	
	編入学	若干名	H22.10. 1 (金)～H23. 3 .24(木)	随 時	試験日から3日以内	

■ 編入学出願資格:修業年限4年以上の大学を卒業した者(学士)、または平成23年3月卒業見込みの者

＜委員会からのお知らせ＞

現在、奥羽大学学報委員会では文学部の同窓生のひろばの記事を募集しております。内容は皆様の近況等を中心に600字程度の文章で下記の住所、もしくはEメールアドレスまでお送り下さい。その際にお手数ではありますがご本人の写真、学科並びに卒業期を添えて頂ければ幸いです。皆様からの寄稿を心よりお待ちしております。

連絡先／奥羽大学 総務部 広報担当
gakuhou@jim.ohu-u.ac.jp

奥羽大学報127号（通算No.252）平成22年9月3日発行
発 行 奥 羽 大 学
学 報 編 集 委 員 会
委員長 天 野 義 和

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372
ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>
メー ル ア ド レ ス info@ohu-u.ac.jp